

科目名	ユニバーサルデザイン概論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	米 田 郁 夫						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	かつて、高齢者や障がいのある人たちの社会参加を困難にする多くの障壁が存在した。その障壁を取り除くために、バリアフリーの考え方が生まれ、さらにバリアフリーの考え方の問題点を克服する手法としユニバーサルデザインの考え方が生まれた。本講義では、ユニバーサルデザイン発想までの経緯を理解し、誰もが住みやすい社会の在り方について学ぶ。						
授 業 の 到達目標	1) すべての人たちの社会参加の重要性を理解できる 2) ユニバーサルデザインの発想と進展のプロセスについて理解できる 3) バリアフリーの問題点について理解できる 4) 障がいのある人たちの生活機能と環境の関係について理解できる 5) 障がいのある人たちの日常生活を支援する生活用具について理解できる 6) みんなが使いやすい環境の在り方について理解できる 7) ユニバーサル社会構築の重要性について理解できる						
学習方法	講義は、その日の講義資料を配布し、その内容を説明しながら進める。なお、毎回の講義において、理解したこと、疑問に感じたことなどをミニレポートとして提出することを求める。						
テキスト及び参考書等	適宜資料を配布する						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等		◎				60	
宿題・授業外レポート	◎		◎			20	
授業態度	○		○	○		20	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション —ユニバーサルデザイン理解への扉—						
第 2 週	人間の生活機能と環境 —障がいとは何かを考える—						
第 3 週	日常生活における不便さ (1) 高齢者						
第 4 週	日常生活における不便さ (2) 車いす使用者						
第 5 週	日常生活における不便さ (3) 知覚障がい						
第 6 週	日常生活における不便さ (4) 難病罹患者等						
第 7 週	ユニバーサルデザインの歴史 (1) 障がいのある人たちの生活権獲得の歴史の概観						
第 8 週	ユニバーサルデザインの歴史 (2) バリアフリーへの道のり						
第 9 週	ユニバーサルデザインの歴史 (3) バリアフリーの問題点						
第 10 週	ユニバーサルデザインの歴史 (4) バリアフリーからユニバーサルデザインへの胎動						
第 11 週	ユニバーサルデザインの進展 (1) ユニバーサルデザインへのプロローグ						
第 12 週	ユニバーサルデザインの進展 (2) ユニバーサルデザインへのアプローチ						
第 13 週	ユニバーサルデザインの進展 (3) ユニバーサルデザインに関連する用語と具体例						
第 14 週	ユニバーサルデザインの進展 (4) 環境のウォッチングと住民の手によるまちづくりの事例						
第 15 週	まとめ 講義の総括・補足・レポートの作成						
第 16 週							
備 考	授業前には事前学習、授業後は事後学習をしっかりと行い、疑問点等があるときはそのままにせず積極的に教員に聞くようにすること。						